

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 単回使用気管内チューブスタイレット 37469000

デイスポスタイレット

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

本品の操作は、慎重に行うこと〔患者の気管損傷及びチューブ損傷のリスクが高くなる〕。

**【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

本品は MR Unsafe であり、MR 検査は禁忌とする〔MR 装置への吸着や、火傷等のおそれがあるため〕〔自己認証による〕。

＜使用方法＞

- 再使用禁止
- 再滅菌して使用しないこと。
- 気管内チューブが正しい位置に留置されたことを確認するまで本品を引き抜かないこと。また、本品の再挿入は行わないこと〔本品の再挿入は、気管内チューブを破損させ、気管等を損傷させるおそれがある〕。
- 本品を切断して使用しないこと〔気管内チューブを破損させ、気管等を損傷させるおそれがある〕。
- 本品に必要以上の力を加えないこと〔本品が折損し、気管内チューブを破損させるおそれがあるため〕。

*【形状・構造及び原理等】

1. 形状



サイズ	適用チューブの内径
中 (φ 3.3 mm)	≥ φ 5.0 mm
大 (φ 4.3 mm)	≥ φ 6.0 mm

2. 原材料

ポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジイソノニル）

3. 原理

スタイレットを気管内チューブに挿入することにより、柔らかい気管内チューブを安定させ、容易に気管に挿入することができる。

【使用目的又は効果】

気管内チューブを安定させ、声帯の通過を容易にするために用いる器具をいう。挿管前に気管内チューブに挿入し、挿管完了後に抜去する。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 本品を包装から無菌的に取り出す。
- 本品を曲げ、形状を整える。
- 気管内チューブに挿入する。
- 挿管完了後に抜去する。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 本品の操作は慎重に行い、抵抗等により抜去できない場合は気管内チューブと一緒に抜去すること〔無理に引き抜いた場合、患者の気管及び気管内チューブが損傷するおそれがある〕。
- 本品が気管内チューブの先端等からはみ出さないように注意すること。

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 一旦開封した製品は、未使用であっても廃棄すること。
- 本品を曲げる場合は、シャフトに指先を添えて親指で押し下げるようにゆっくりと曲げること。
- 曲げを戻す場合は、シャフトの曲げを上向きにして持ち、指先をしっかりと添えて、曲げるとき同様、親指でゆっくりと押し下げるようにして戻すこと。
- 曲げ伸ばしを繰り返すと、金属疲労により折損を起こすことがある。

2. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	本品を検査室に持ち込まないこと。MR 検査を行うときは、本品を取り外すこと。	内側のワイヤーに金属製の材料が使用されているため。誘導起電力により局部的な発熱で火傷のおそれがある。また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

滅菌有効期間

3 年〔自己認証（当社データ）による〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器株式会社
TEL：0725-53-5546



製造業者：パシフィック ホスpital サプライ社 台湾
Pacific Hospital Supply Co., Ltd.